

トラック輸送情報（平成21年3月分）

平成21年6月24日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、久島 内線28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

1. 特別積合せ貨物

(1) 本月の概況

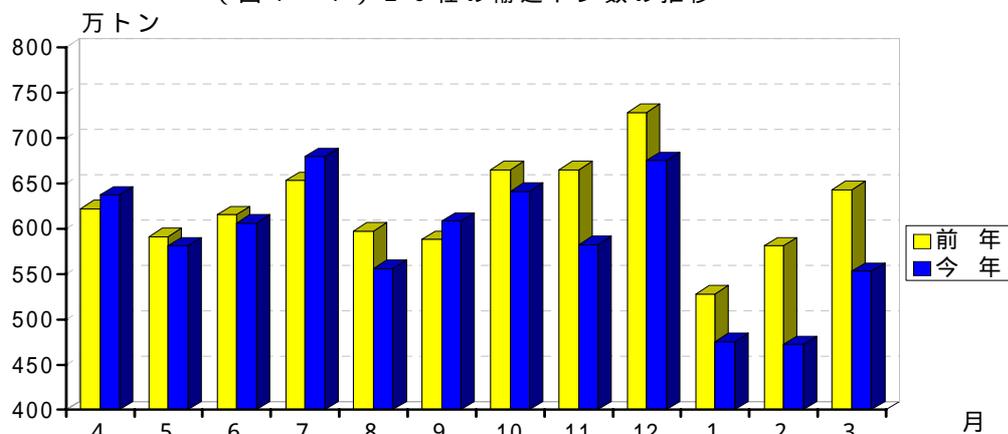
調査対象26社の本月の輸送量は、5,526,081トンで、前月と比べ総輸送量が約81万トン増加したため、前月比117.1%（季節調整済み99.9%）となり、前年同月との比較では、約90万トン減少したため、前年同月比86.0%の実績であった。

なお、平均稼働日数は24.3日で、前月と比べ1.9日増加し、前年同月と同日数であった。稼働1日当たりの輸送量は、227,411トンで、前月と比べ約1万7千トン増加したため、前月比108.0%となり、前年同月との比較では、約3万7千トン減少したため、前年同月比86.0%の実績であった。

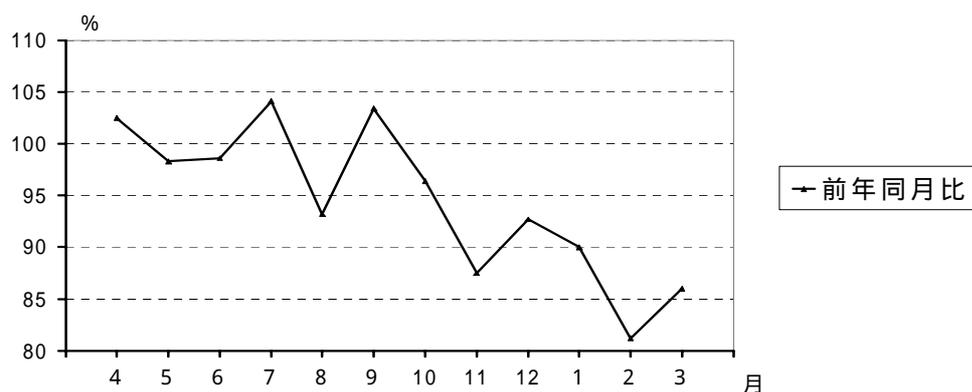
（図1-1、図1-2参照）

注）平成20年4月から貨物輸送の調査対象については、従来対象としていた7社の合併により26社となった。

（図1-1）26社の輸送トン数の推移



（図1-2）26社の輸送トン数の前年同月比



(2) 宅配便の概況

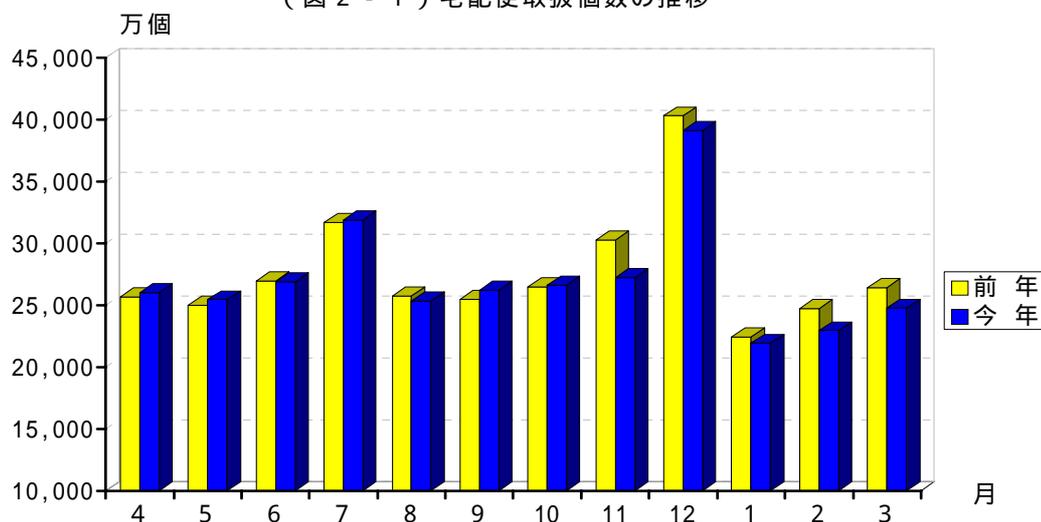
調査対象 20 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、247,567 千個で、前月と比べ 約 1,811 万個増加したため、前月比 107.9% (季節調整済み 95.7%) となり、前年同月との比較では、約 1,685 万個減少したため、前年同月比 93.6%の実績であった。

(図2 - 1、図2 - 2参照)

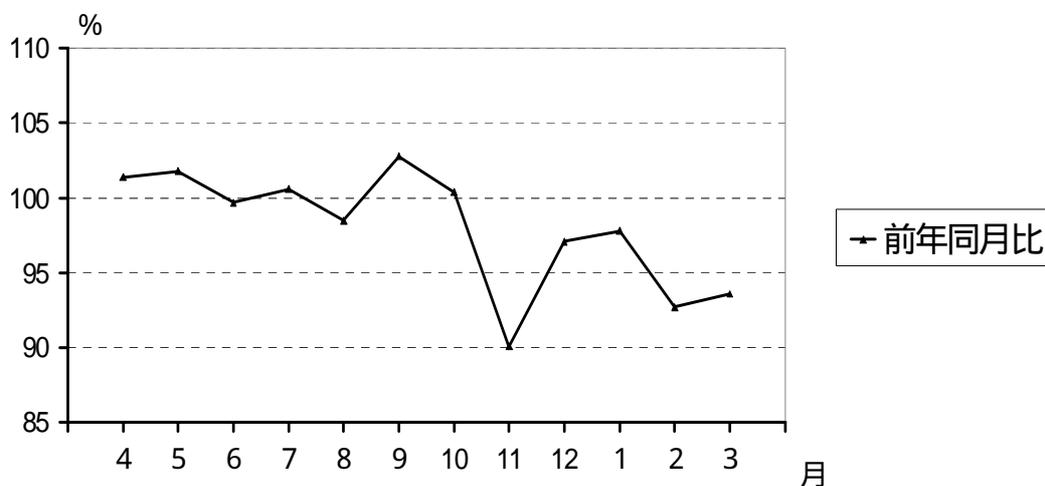
注)平成20年4月から宅配便輸送については調査対象が1社増え、20社となった。

対前年同月比並びに対前月比は、20社ベースで比較している。

(図2 - 1) 宅配便取扱個数の推移



(図2 - 2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 26 社の品目別及び地域別輸送状況 (表1参照)

前月と比べると、稼働日数の増加等により輸送量が増加した。増加要因としては、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」、「日用品」及び「その他(宅配便・百貨店配送品)」で工場・生産地からの貨物増等があげられるほか、「繊維工業品」、「日用品」及び「その他(宅配便・百貨店配送品)」では季節的需要増等も要因となっている。地域的には、「機械」が関東、北陸信越、近畿地方、中国で増加したほか、「化学工業品」、「繊維工業品」、「食料工業品」、「日用品」及び「その他(宅配便・百貨店配送品)」では、ほぼ全国的に増加している。

前年同月と比べると、主に不況に伴う工場・生産地からの貨物減等により、「農水産品」、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」及び「日用品」で輸送量が減少している。地域的には、「農水産品」が北海道、東北、関東、九州で減少したほか、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」、「日用品」及び「その他(宅配便・百貨店配送品)」では、ほぼ全国的に減少している。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 26社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因		
	著増	増	変らず	著減					
前 月 に 比 べ て	農水産品	1	1	13	3				
	金属製品	1	4	12	3				
	機 械		6	11	2	1	機械部品	関東、北陸信越、近畿地方、中国	4
	化学工業品	1	11	9	1		合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	繊維工業品	1	7	12	2		織物	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8
	食料工業品	1	9	9	1		製造食品、飲料、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7
	日 用 品	3	9	10			書籍・印刷物、文具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州、全国	4, 5, 7, 8
	そ の 他	2	10	8	1		宅配便、百貨店配送品	関東地方、大阪、中国、全国	2, 4, 8
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	2		10	3	3	青果物	中国	4
								北海道、東北、関東、九州	4
	金属製品		2	9	4	5		関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	機 械			6	7	7	電気機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9
	化学工業品		2	8	7	5	塗料、合成樹脂、その他の化学工業品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	繊維工業品			11	8	3	織物	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7
	食料工業品	1	1	14	1	3			
	日 用 品		1	8	8	4	書籍・印刷物、文具、その他の日用品	東北、関東地方、北陸信越、近畿、全国	4, 5, 7, 9
そ の 他	1		8	8	4	宅配便、百貨店配送品	神奈川、関東、全国	2	

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

2. 一般貨物

(1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 784 社 / 調査対象事業者数 1,093 社）の輸送量は、前月比 107.0%、前年同月比 89.6%であった。

(表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全国	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
前月比	107.0%	100.6%	108.3%	105.1%	110.6%	108.7%	112.5%	113.7%	105.4%	106.4%	119.9%
前年同月比	89.6%	93.7%	89.0%	89.7%	86.3%	81.0%	90.2%	86.5%	86.9%	91.7%	133.1%

(2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 100.6%、対前年同月比 93.7%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「石炭」、「動植物性飼・肥料」等の輸送量が増加しているほか、季節的需要増等により「セメント」、「化学肥料」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減等により「その他の農産品」、「水産品」、「砂利・砂・石材」、「その他の石油製品」、「廃棄物」等の輸送量が減少している。中でも雪解けによる排雪運搬の減少を要因とする「廃棄物」等の輸送量の減少が顕著であった。今後の輸送見通しは、次月は若干減少傾向にあると予想されるが、例年5月以降は増加傾向を示している。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 108.3%、対前年同月比 89.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「木材」、「化学肥料」、「食料工業品」、「動植物性飼・肥料」、「取り合せ品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「砂利・砂・石材」、「鉄鋼」、「セメント」等の輸送量が減少しているほか、工場・生産地からの貨物減等により「金属製品」、「機械」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 105.1%、対前年同月比は 89.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「機械」等の輸送量が増加した。一方、季節的需要減により「食料工業品」の輸送量が減少しているほか、工場・生産地からの貨物減により「その他の製造工業品」の輸送量にも減少がみられた。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 110.6%、対前年同月比は 86.3%であった。品目別には、季節的需要増等により「木材」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「鉄鋼」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 108.7%、対前年同月比は 81.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「機械」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「その他の化学工業品」、「日用品」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 112.5%、対前年同月比は 90.2%であった。品目別には、季節的需要増等により「食料工業品」、「日用品」、「取り合せ品」等の輸送量が増加しているほか、工場・生産地からの貨物増等により「その他の製造工業品」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「金属製品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 113.7%、対前年同月比は 86.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「鉄鋼」、「金属製品」、「食料工業品」、「取り合せ品」等の輸送量が増加した。一方、工場・生産地からの貨物減等により「日用品」、「その他の製造工業品」、「廃棄物」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 105.4%、対前年同月比は 86.9%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「その他の製造工業品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「畜産品」、「化学薬品」、「その他の化学工業品」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに横ばい傾向と予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 106.4%、対前年同月比は 91.7%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「化学肥料」、「紙・パルプ」、「その他の製造工業品」、「動植物性飼・肥料」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「鉄鋼」、「金属製品」、「機械」、「セメント」、「その他の石油製品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 119.9%、対前年同月比は 133.1%であった。品目別には、季節的需要増等により「取り合せ品」の輸送量が増加した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目		運輸局										
		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
1. 穀物	増	1	2								1	4
	減		1									1
2. 野菜・果物	増	1			1			1	1	7		11
	減	1								2		3
3. その他の農産品	増	1		1						1	1	4
	減	3										3
4. 畜産品	増	2	1									3
	減							1	1			2
5. 水産品	増					1		1				2
	減	2	1				1	1		1		6
6. 木材	増	2	2		2							6
	減	2						1			1	4
7. 薪炭	増											
	減											
8. 石炭	増	2	1									3
	減											
9. 金属鉱物	増											
	減											
10. 砂利・砂・石材	増	1			3				1	3		8
	減	10	2			1				2		15
11. 工業用非金属鉱物	増		1							1		2
	減							2		1		3
12. 鉄鋼	増	1					1	3			1	6
	減	2	2		2		1	2	1	3		13
13. 非鉄金属	増						1					1
	減											
14. 金属製品	増	1			1	1		3		1	1	8
	減	1	3			1	3			3		11
15. 機械	増	1		2		2	2	2		2	1	12
	減		4	1		1	2	3		4		15
16. セメント	増	3	1		1					2		7
	減	1	3		1		1	2		3		11
17. その他の窯業品	増		1		1			3		1		6
	減		1					2				3

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
18. 揮発油	増			1	2					1		4
	減	2	1						1			4
19. その他の石油製品	増		1	1	1			1				4
	減	2			1			1	1	2		7
20. コークス・ その他の石炭製品	増											
	減											
21. 化学薬品	増	1										1
	減				1				1			2
22. 化学肥料	増	2	4	1	1		1	1		3		13
	減	1			1							2
23. その他の化学工業品	増		1					1				2
	減		1			2		2	1	1		7
24. 紙・パルプ	増			1		1	1	4	1	2	1	11
	減	1					1	2		1		5
25. 繊維工業品	増											
	減				1			1	1			3
26. 食料工業品	増		4		1		4	7	2	3	1	22
	減	1	1	1			2	1	1	1		8
27. 日用品	増	3	1				3	2	1	1		11
	減	3	1			2		3				9
28. その他の製造工業品	増				1	1	3	2	1	4		12
	減		1	1	1	4	1	3		3		14
29. 金属くず	増							1		1		2
	減										1	1
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	2	3		1					2		8
	減		1	1								2
32. 廃棄物	増				1		1	1				3
	減	11						2		1		14
33. 輸送用容器	増		1		1							2
	減				1							1
34. 取り合せ品	増	1	3	1	1	1	2	5		1	3	18
	減	1								1		2
35. その他	増			5	1	2	6	3	1	1	1	20
	減		3	1	3	1	3	2		1		14